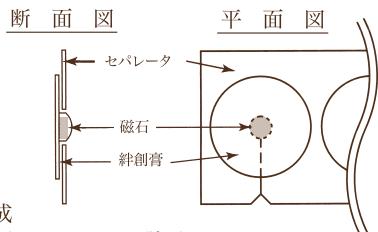


機械器具81 磁気治療器
 管理医療機器 家庭用永久磁石磁気治療器 71016000
磁気紺V

再使用禁止

【禁忌・禁止】

心臓ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を装着している方又は脳せき髓液短絡術用圧可変シャントなどの磁気影響を受ける可能性のある医用電気機器を使用している方は、誤作動を招くおそれがありますので使用しないでください。

【形状・構造及び原理等】**・組成**

磁石：フェライト磁石

紺創膏：ポリ塩化ビニル樹脂フィルム／ゴム系粘着剤

セパレータ：紙

・構造

磁石、紺創膏、セパレータで構成される。

・原理

磁石のN極とS極間に生じる磁力線により、貼付部位の血行を改善し、こりをほぐす。

・最大磁束密度：145mT**【使用目的又は効果】**

永久磁石の磁力による貼付部位のこり、血行の改善。
 一般家庭で使用する。

【使用方法等】

肩、首すじ、腰などこりのある場所の汗や汚れを拭き取り清潔にして、磁石が装着されている紺創膏をセパレータからはがし、1～数粒貼付してください。なお、貼付部位は裏面の貼付点参考図を参考にしてください。



- セパレータからのとりはずし方
図のように、セパレータ切り口よりお取りください。

使用後は、すぐに捨ててください。

【誤飲を防ぐために】

小児及び監督を必要とする方が手にとると、誤って磁石を紺創膏からはずして飲み込む恐れがあります。

【使用上の注意】

- (1) 次の方は使用前に医師に相談してください。
 - 悪性腫瘍のある方。
 - 心臓に障害のある方。
 - 妊娠初期の不安定期又は出産直後の方。
 - 糖尿病などによる高度な末しょう循環障害による知覚障害のある方。
 - 皮膚に感染症又は創傷のある方。
 - 安静を必要とする方。
 - 体温が38°C以上（有熱期）の方。
- 例1：急性炎症症状（倦怠感、悪寒、血圧変動など）の強い時期
- 例2：衰弱しているとき
- ⑧ねんざ、肉離れなどの急性疾患の方。
- (2) 他の治療器との併用は避けてください。

- (3) 使用しても効果があらわれない場合には、医師又は専門家に相談してください。
- (4) 使用に際しては、次の事に注意してください。
- ①傷や湿疹、かぶれ等のある場所には使用しないでください。
 - ②磁気共鳴画像診断装置（MRI）の検査を受ける人は、検査の前に使用を中止してください。
 - ③2~3日毎に貼りかえてください。
 - ④乳幼児には使用しないでください。
 - ⑤皮膚の弱い方は、同じ所には続けて使用しないでください。
 - ⑥この製品は天然ゴムを使用しています。
天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。
このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。
 - ⑦時計、磁気カード、フロッピーディスク等の磁気の影響を受けるものに近づけないでください。
 - ⑧使用前に磁石部分に金属などの異物が付着していないことを確認してください。
- (5) 使用中又は使用後は、次の事に注意してください。
- ①使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに使用を中止してください。
 - ②本品の使用により、発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等の症状があらわれた場合には、使用を中止し医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - ③万一磁石を飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
 - ④本品は改造して使用しないでください。
 - ⑤廃棄する際にはお住まいの市町村・自治体の区分に従ってください。

【保管方法及び有効期間等】

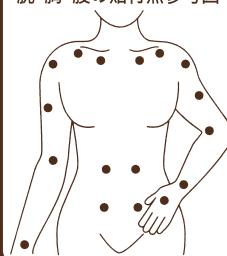
- ・小児及び監督を必要とする方の手の届かない所に保管してください。
- ・直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。

磁気治療器

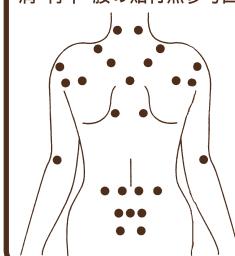
◀▶
貼付点参考図
◀▶

図を参考にして、
指で軽く押して痛みを感じるところに
1~数粒貼付してください。

腕・胸・腹の貼付点参考図



肩・背中・腰の貼付点参考図



足の貼付点参考図



【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

阿蘇製薬株式会社

〒869-1101 熊本県菊池郡菊陽町津久礼91-1

お客様相談窓口 096-232-3933

9:00~17:00まで(土・日・祝日を除く)